



2026 年 8 月 27 日

報道関係者各位

慶應義塾大学

慶應義塾ミュージアム・コモンズ (KeMCo) 現代アート展

「津田道子 からだの天気」開催 (10/28～12/24)

「創造的な空き地」を掲げる KeMCo が、同時代のクリエイションとの接続を試みる現代アートの展覧会シリーズ。第 3 回は、身体や映像を通して世界を認識する方法を探究してきた美術家・津田道子を迎えます。走ること、登ること、潜ること。運動によって刻々と変化する「からだ」を起点に、身体と都市、地形や環境のあいだを行き来しながら、その重なりやゆらぎをめぐる展覧会です。ぜひ、ご期待ください。

1. 基本情報

会期： 2026 年 10 月 28 日 (水) — 12 月 24 日 (木) (土・日・祝日休館)
特別開館：10 月 31 日 (土)、11 月 28 日 (土)、12 月 19 日 (土)
臨時休館：11 月 30 日 (月)、12 月 14 日 (月)
会場： 慶應義塾ミュージアム・コモンズ展示室 (三田キャンパス 東別館)
開館時間： 11:00～18:00
夜間延長開館：11 月 6 日 (金) は 19:00 まで開館を延長いたします。
入場： 無料、予約不要
詳細： <https://kemco.keio.ac.jp/all-post/20261028/>

2. 展覧会概要

身体や映像を通して、世界を認識する方法を独自に探究してきた美術家・津田道子。近年はレクチャー・パフォーマンスのようなランニング・イベント「and run」を展開するなど、運動という軸から知覚と身体性へのアプローチを深めています。

街を走り、山に登り、海に潜る——動きつづけるからだは、呼吸を重ね、体温や脈拍を変化させ、気温・光・地形などその時々周囲の環境との関係のなかで、刻々と状態を変えながらゆらいでいきます。そうした変化のなかで立ち現れる私的な感覚や、そこから想起される記憶に基づく思考は、都市に堆積する歴史や水脈のようなひろがり、地殻の時間へと誘われ、現実と空想、現在と過去のあわいを漂います。本展覧会では、津田が近年行うダイビングで捉えた海底映像から生まれる新作《呼吸の地質学》の展示をはじめ、身体・都市・地形、それぞれの息遣いが重なり合う場を立ち上げます。

津田道子／アーティスト

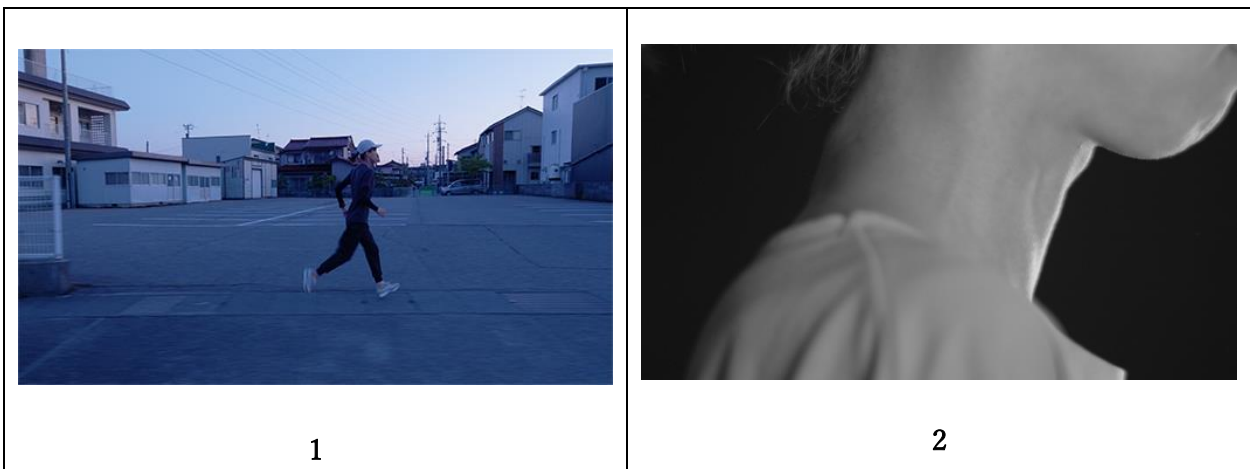
インスタレーション、映像、パフォーマンスなど多様な形態で、鑑賞者の視線と動作によって不可視の存在を示唆する作品を制作。空間把握と時間把握に関わる知覚の操作によって、人間の認識能力の危うさや、その危うさゆえにかいみすることのできる幻想の豊饒さについて、継続的に探究してきた。2016 年より神村恵とのユニット「乳歯」としてパフォーマンスを行う。また 2021 年よりランニングを始め、レクチャー・パフォーマンスのようなランニング・イベント「and run」を開始。近年の主な個展に、2025 年「あなたは、翌日私に会いにそこに戻ってくるでしょう。」（Dom Art Project、ドバイ）、2023 年「津田道子 so far, not far」（金沢アートグミ）、グループ展に「スペクトラム スペクトラム」（銀座メゾンエルメス フォーラム）などがある。2013 年東京芸術大学大学院映像研究科で博士号を取得。2019 年に ACC のグランティとしてニューヨークに滞在。Tokyo Contemporary Art Award 2022-2024 受賞。2025 年より京都市立芸術大学准教授。
<http://2da.jp/>

3. 参考作品

1. 2. 《so far, not far》よりスチル画像、2023

©Michiko Tsuda Courtesy of TARO NASU

photo by Yuji Oku



4. 関連プログラム

1. アーティスト・トーク | 2026 年 11 月 28 日（土）

- * 詳細は展覧会ウェブサイトにてお知らせいたします。 <https://kemco.keio.ac.jp/all-post/20261028/>
- * 会期中にはこの他のイベント開催も予定しています。

2. 展覧会記録集刊行

- * 展示作品および関連イベント等を掲載した記録書籍を、2027 年 3 月末に刊行予定です。

5. 会場案内

会場：慶應義塾ミュージアム・commons

住所：〒108-8345

東京都港区三田 2-15-45

慶應義塾大学三田キャンパス 東別館

交通アクセス：

田町駅 (JR 山手線／京浜東北線) 徒歩8分

三田駅（都営地下鉄 浅草線／三田線）徒歩7分

赤羽橋駅 (都営地下鉄 大江戸線) 徒歩8分



6. 主催・運営

主催：慶應義塾ミュージアム・commons

協力：TARO NASU

※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、各社教育部、文化部等に送信させていただいております。

本発表資料のお問い合わせ先

慶應義塾広報室（担当：若原）

TEL : 03-5427-1541 FAX : 03-5441-7640

Email : m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/>